

☆☆めざす児童像：「元気な子 気づく子 学ぶ子」☆☆

大村市立大村小学校  
学校だより

# 感じて動く

文責：校長 高木 修  
令和4年5月20日 No.3

☆☆子どもが「喜んで登校し 満足して下校」する学校づくり☆☆

## ◆ あいさつ名人になろう

おはようございます!!



**そうすあじへ**  
そ う じ スリッパ あいさつ じょうご へんじ

学校生活の中で、子どもたちに身に付けてほしいことを、本校では「そう・す・あ・じ・へ」という言葉で表しています。「そう」は、「そうじ（無言掃除で、すみずみまできれいに）」、「す」は「スリッパ（靴箱やトイレの履き物をそろえる）」、「あ」は「あいさつ（元気なあいさつ）」、「じ」は「じかん（時間を守る）」、そして、「へ」は「へんじ（元気な返事）」です。この五つのことができるようになることを年間の生活目標として位置づけ、随時指導をしています。

5月17日（火）は全校朝会（リモート）で、校長講話がありましたので、その五つの中の一つである、「あいさつ」についての話をしました。内容は以下の通りです。

- ・あいさつとは、「自分の心をひらく」という行為であること
- ・お互いに心をひらいてあいさつを交わせば、より相手の人と近づくことができるし、仲良くなれること
- ・あいさつを交わせる人が増えていけば、とても安心で心強くもなること
- ・あいさつをして、相手からも元気なあいさつが返ってきたとき、とても良い気持ちになること（お互い笑顔になって、さらに元気が出たり、やる気が出てきて、「今日も一日頑張るぞ」という気持ちになったりすること）
- ・良い気持ちになるのは、お互いが心をひらき合ったことで心がつながったからであること。

そして、あいさつをするときのポイントについて確認しました。ポイントは四つあり、それは「あいさつ」の言葉の中に隠されています。

「あ」・・・相手を見て 明るく  
「い」・・・いつでも  
「さ」・・・先に  
「つ」・・・続ける



毎週金曜日は、生活委員会の皆さんが、毎月第3金曜日は健全協や民生児童委員の皆さんが「あいさつ運動」をしてくださっています。また、生活委員会では、お昼の校内放送で「あいさつ名人」の紹介もしています。

四つのポイントを実践して、子どもたちには「あいさつ名人」をめざしてほしいです。

これから、気持ちのいい挨拶の輪がどんどん広がっていくことを願っています。

## ◆ 家庭訪問、お世話になりました



5月2日（月）から5月12日（木）まで実施した家庭訪問では、御多用の中、時間をつくっていただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染防止の観点から、玄関先での短時間の訪問を原則とさせていただきますが、担任としましては、各御家庭の場所や地域の様子等を確認したり、直接、顔を合わせて保護者の皆様と話をしたりすることができ、大変有意義な時間となりました。

これからも、学校と家庭の連携を密に取りながら教育活動を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。